

岐阜第一高校

『パイナキムチバーグな放課後 '21』

◎ □ △ ○ ▽ ☆ ◎ □ △ ○ ▽ ☆ ◎ □ △ ○ ▽ ☆ ◎ □ △ ○ ▽

岐阜第一高校さんは「頭のネジ外しきったキムチバーグ賞」です。

岐阜第一高校さんの劇は、いい意味でとても狂っており、とても笑いに極振りした劇だと感じました。「パイナキムチバーグ」なんて言葉なかなか思いつくものではなく、その言葉が思いついたところからこの劇は始まっていると思います。そして終始ハチャメチャでとても面白かったです。これ程の劇を創り、あれ程の笑いをとれたのはやはり、頭のネジを外しきり演じきれたからだだと思います。

この物語の舞台は演劇部で、脚本を任されることになった1年の女子部員のミキは、教室で1人で脚本を書いている。すると様子を見に1年の西尾、林田、大川の3人が教室に入ってくる。そして1人で淡々と脚本を書くミキを見て、自分たちも手伝おうとする。そうしていると、帰ってくるのが遅い1年の様子を見に3年の多和田、堀越、関口の3人が教室に入ってくる。そして事情を聞いた3年の3人も脚本創りに協力することになる。そうしてみんなで脚本を創っていると、ミキの様子がおかしく、脚本を完成させないと帰れないことに気付く。みんなで必死に脚本を完成させるというお話です。

僕がこの劇を見てすごいなと感じたことは、まず転換が無かったことです。転換が無いことで、観客の集中力を切らさず、上手く劇に引き込むことができていたと思います。その転換が無い約1時間を演じ切る演技力も凄いなと思いました。特に2つ、ミキの叫んでいるところは、見てる人でさえ心配してしまう程だったし、即興劇をやっている時の、周りの人のストップモーションも完成度が高く凄かったです。お笑いをやる上で大事な間やタイミングも完璧で、笑いを程よく取りつつ話をちゃんと進めていてよかったです。特にこの劇の笑いの主軸であった「パイナキムチバーグ」のくだりは、イントネーションを変えたり、「ばかなキムチバーガー」みたいに变化させたりなどの工夫をして、出てくる度に大爆笑を取れていて本当に凄いなと思いました。そうしてめちゃくちゃ面白い劇なのにちゃんと話がまとまっていて本当にすごい劇でした。

岐阜第一高校さんお疲れ様でした。

◎ □ △ ○ ▽ ☆ ◎ □ △ ○ ▽ ☆ ◎ □ △ ○ ▽ ☆ ◎ □ △ ○ ▽